

平成26年度 比治山小学校 学校経営計画

<b>学校教育目標</b> 心豊かでたくましいひじやまっ子を育てる。	ひ 人とかかわりを大切にすること                    じ 自分で考え、よい行動をする子                    や やさしく思いやりのある言動をする子                    ま まじめにねばり強く働く子
---------------------------------------	---

<b>目指す学校像(ビジョン)</b> 「活力」のある学校をつくる	「チーム比治山」の一員として、「活力」ある教職員をめざす ○ 人間尊重の教育を基軸にして心豊かでやさしい児童を育てる学校 (1) 授業を大切にし、資質・指導力の向上に努める教職員 ○ 教職員の授業改善の取組みと食育の推進により、たくましく生きる力を育む学校 (2) 児童の心をしっかり受け止め、温かい指導・助言のできる教職員 ○ 児童の安心・安全な学校生活のために整えられた教育環境づくりをする学校 (3) 全校的視野に立ち、一致協力していく教職員 ○ 全教職員の積極的な協働・参加を促進する学校 (4) 家庭・地域との連携に努め、信頼関係を高めようとする教職員 ○ 家庭・地域との信頼関係を深めつつ、ともに歩む学校
--------------------------------------	---

領域	中期経営目標	短期経営目標	評価指標	具体的手だて
確かな学力の向上	<b>重点目標</b>  指導法の工夫をして、支え合い、わかり合う授業の創造を行い、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。 (研究部・教務部)	算数科の「単位数あたりの大きさ」につながる「文章問題」を中心に据えた「楽しく学んで分かる授業づくりと学習の日常化を図る取り組み」を行い基礎・基本の学力の定着を図る。	(研究部) 各学年の評価テストの達成率	○6年間の算数科の学習が見通せるよう学校全体で、「単位数あたりの大きさ」につながる「文章問題」を中心に据えた授業づくりに取り組み、全学年で共通する学習の流れをつくる。 ・授業の中に話し合い活動を仕組み、全学年で共通する学習の流れを作る。 ・各学年で発達段階に合わせた、話し合い活動を活発にさせるための取り組みを系統だてて行う。 ○各学年で算数コーナーを設置し、昨年度に引き続き、作図の基礎的スキルを定着させるための用具の使い方の視覚的な掲示に取り組む。 ○各学年が系統を考慮して評価テストを作成し、定期的実施・分析をする。 講師を招へいし、全体研究会、ブロック研究会をそれぞれ年3回実施する。
		各学年に応じた系統的な指導により、「学習規律」や「学習習慣」を身に付けさせる。	(教務部) 教職員・保護者アンケートの満足度	各学年で、身に付けていく「学習規律」を考え、系統的に指導していく。 (ベル着、机の上や中の使い方、発言の仕方、先生や友達の話の聞き方、グループ学習のやり方等) 家庭学習の習慣を身に付けるため、学年に応じた宿題の工夫を行う。各学年で、1年生から6年生の系統も考慮し量や内容を考える。
健全な心身の育成	食育や体力の向上、心身の健康、安全に関する指導を通じて、基本的な生活習慣を身に付けさせ、体の健康や保健・安全に関する自己管理の力などを伸ばす。 (健康教育部)	食育の授業や生活習慣ステップアップカードを用いたふり返しを行うことにより、食や健康に関する自己管理能力を育成する。児童の体力の向上を図る。	(健康教育部) ・月目標の達成率 ・生活習慣ステップアップカード朝食・野菜摂取率 ・食べ物はかせになるクイズのクラス達成率と個人達成率 ・新体力テストの平均数値向上。	○精選した3つの給食目標が達成できるようクラス単位で取り組む。具体的には、ごはんの残食率や食べる時間の確保、食に関する指導や日めくりクイズ等で得た知識の定着度を図る。 ○ステップアップカード項目の朝食内容向上と排便率の向上を図るため、保護者から募集したパワーアップ朝食レシピを紹介する。 ○体力を向上させるために用具の工夫、授業の工夫を年間計画を基に進めていく。委員会を中心とした遊具の紹介や休憩時間の遊び方や安全についての呼びかけを行う。また、行間体育や体育的行事を行うとともに、体育研修を行い体育の授業の改善を図る。
豊かな心の育成	多様な体験活動を取り入れるとともに、道徳教育を充実させ、場に応じて適切な言動がとれる児童を育成する。 (生徒指導部)	あいさつの頑張りカード、そうじチェックカードを用いて指導を行い、あいさつの達人、そうじの達人を育成する。	(生徒指導部) ・あいさつ頑張りカード、そうじチェックシートの達成率 保護者アンケートの満足度	○生活委員会を中心とした通年の取り組み、および計画委員会を中心とした年3回の「あいさつ強化月間」の取り組みを行い、全校児童参加による「朝のあいさつ運動」をあいさつ強化月間に合わせて年間2回行い、あいさつをすることや挨拶を返されることに気持ちよさや達成感を感じさせる。 ○形式的なあいさつの繰り返しの終わることなく、心の交流を重視し、「おはようございます」のあいさつに加え、「ありがとう」「ごめんね」「どうぞ」「いいよ」などの「あたたかい言葉かけ」を意識づける。 ○生活委員会を中心とした月1回のそうじチェック(床のごみ・掃除道具ロッカーの整頓・雑巾の整理)を行うことにより、学級全体を上げて清掃活動に真剣に取り組む意識を高め、全校の70%以上のクラスが「ピカピカ賞」を受賞できるように指導する。
まちぐるみによる教育の推進	保護者や地域の願いを的確に把握し、計画的な情報発信を行うことで開かれた学校づくりを行う。  教職員一人一人が「チーム比治山」の一員として、全校的視野に立って一致協力することを目指す。 (総務部)	各種便りやWEBページなどの情報発信の工夫・改善を行うことにより、保護者・地域とのより深い信頼関係の構築を目指す。 「どの学級でも同様なルール」を明確にして一貫した指導を行うため「チーム比治山ガイド」をすべての教職員で共通に指導する。	(総務部) ・WEBページアクセス数の増加 ・保護者アンケートでの肯定的評価の割合 ・教職員アンケートによる「チーム比治山ガイド」実施率→「チーム比治山ガイド」全項目について9割以上指導したと答えた教職員の割合9割以上(教職員アンケート)	○学校だより・学年だより・各種たよりの内容を見やすく分かりやすい内容で定期的に発行するとともに、WEBページで学校行事の写真などのアップを可能な限り行う。 ○WEBページの更新を月一回以上行う。 ○「学校だより・学年だより・各種たより及びWEBページがよく分かった」等の効果測定のためのアンケートを年一回実施する。 ○「チーム比治山ガイド」が有機的に活用されるよう、指導内容の実施について啓発を図るとともに、各校務分掌部に働きかけを行い、各分掌部から項目の提案又は内容の精選についてのアイデアを出させるようにする。